

2016 年 7 月 8 日(金)作業療法学習会を開催しました。

第 1 回目は「作業療法における上肢機能アプローチ」-知覚探索・操作器官としての役割に向けて-とし、上肢・手の基本的な役割を再確認し、OT の役割を踏まえながら、上肢・手の機能的活動の特性について文献を通して学習しました。

実際に目の前に対象物を置き、普段私たちはどのように手を伸ばしているのかを体験しながら、まず必要な要素を挙げていき、視覚探索、到達運動、対象操作の工程について掘り下げていきました。



☆参加者からの感想☆

- ・リーチの要素、工程についてわかりやすい資料で勉強になりました。視覚探索で非麻痺側の過剰な筋緊張が改善できることが分かったので、訓練に活かしていきたいです。
- ・視覚刺激が入っただけで姿勢の変化が表れた事例により、知覚運動体験をすすめる事の大きさを改めて実感しました。
- ・今後のリーチ動作の評価に活かせるようにしていきたい。